

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	和歌山県那智勝浦町	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界遺産を活かした地域活性化計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成 23 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			—
平成 24 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			—
平成 25 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 26 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 27 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 28 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
6 計画の実施状況（概要）			
※平成29年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>世界遺産シンポジウム「熊野三山と参詣道」を開催し、第一部では「世界遺産登録後の保全と活用について」基調講演を行い、第二部では当地方の世界遺産に関連のある方々を招聘しパネルディスカッションを行った。また、本シンポジウムの他、様々な世界遺産に関する取組を映像化し、広く社会に向けて発信する。当町の魅力認知度の向上を図ることで一過性に終わらないリピーターを含めた誘客や、当町が保有する多様な観光資源の魅力を後世へと伝承する。</p>			
7 定量的な目標に対する計画の進捗状況			別紙①②のとおり
※平成29年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。			
8 効果等の検証・分析結果			
※上記7の進捗に対する検証・分析結果を記載し、併せて定量的な効果を具体的に記載してください。			
<p>シンポジウム終了後、参加者にアンケート調査を行ったところ、6割以上が世界遺産への理解度の変化が見られた。本事業により、参加者の世界遺産に対する理解度の向上だけでなく、当町が所有する世界遺産の魅力発信に繋がった。また、アンケートの集約により、今後同じような事業を行っていく上で、あらゆる課題を発見することができた。</p>			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	入込客数				関連事業:	事業①	
目標値 1 :	平成 27 年度		1,390,000 (日帰り 723,000) 人		⇒	平成 29 年度 2,000,000 (日帰り 1,040,000) 人	
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
人	人	人	人	1,510,071 (日帰り954,715) 人	人	人	
				20%			
具体的な指標 2 :	来場者のシンポジウム後の世界遺産認識度				関連事業:	事業①	
目標値 2 :	平成 29 年度		30 %		⇒	平成 29 年度 60 %	
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
%	%	%	%	60 %	%	%	
				100%			

様式 1 - 2 別紙②

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	世界遺産シンポジウム事業	実施団体：	熊野那智大社御創建1700年・那智山青岸渡寺西国三十三所草創1300年記念事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	「紀伊山地の霊場と参詣道」に関するシンポジウム（基調講演及びパネルディスカッション）を実施することで、「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力発信とともに価値の普及啓発を図る。様々な世界遺産に関する取組を映像化し広く社会に向けて発信するとともに、当町の魅力認知度の向上を図ることで、一過性に終わらないリピーターを含めた誘客を狙う。当町が保有する多様な観光資源を利用した誘客活動に取組むことで、これらの価値や魅力を認識させる。					
具体的な指標：	当町入込客数（日帰り）					
目標値：	平成 27 年度 1,390,000 (日帰り723,000) 人		⇒	平成 29 年度 2,000,000 (日帰り1,040,000) 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	人	1,510,071 (日帰り954,715) 人	人	
				20%		
事業②：	世界遺産シンポジウム事業	実施団体：	熊野那智大社御創建1700年・那智山青岸渡寺西国三十三所草創1300年記念事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	事業①のシンポジウムの効果を測定するために、シンポジウム後に記録映像配布先も含めてアンケートを実施する。アンケート内容は、シンポジウムの前後の世界遺産への理解度の変化は勿論、どのような形で・テーマで実施すればより多くの人の理解が得られるかを項目に設ける。アンケート結果を基に、町民の世界遺産に関する知識の向上や、町外に対し、当町の世界遺産の魅力発信および普及啓発活動に活かす。					
具体的な指標：	世界遺産への理解が深まった人の割合					
目標値：	平成 29 年度 30 %		⇒	平成 29 年度 60 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
%	%	%	%	60 %	%	
				100%		